

基調講演 CIMノススメ

～建設生産システムのイノベーションに向けて～

■講演者 佐藤 直良 Sato, Naoyoshi

国土交通省 技監

| | | |
|-------|----------|------------------|
| 【略 歴】 | 平成17年10月 | 国土交通省大臣官房 技術調査課長 |
| | 平成18年 7月 | 同 大臣官房 技術審議官 |
| | 平成20年 7月 | 同 中部地方整備局長 |
| | 平成21年 7月 | 同 河川局長 |
| | 平成23年 1月 | 同 技監 |

■講演概要

少子高齢化社会の本格的な到来、国家財政の逼迫、社会インフラの老朽化の進行等の国内諸問題を始め、環境、エネルギー、経済等の世界的な問題に直面している今、国と地域の持続可能な発展のために、強力に国土形成・保全を進めていく必要がある。

ここで、土木技術が貢献すべき課題としては、広く建設事業全般における生産性の向上、つまり、限られた貴重な人的、物資的、金銭的な投資により、安全、快適、環境等のより大きな価値を創出することが挙げられる。

近年、目覚ましい発展を遂げる情報通信技術を駆使し、建設事業の企画・計画から、調査、設計、施工、維持管理・運営、更新に到る一連の過程が一貫性を持ち、関係する各制度・施策・技術を統合・融合し、建設事業全体の画期的な生産性向上、建設生産システムのイノベーションの実現に向けた取組、目指す方向性を紹介。

- BIM (Building Information Modeling) の世界的な潮流
 - ・ 標準化、プロジェクト事例、政府の動き
- BIM の国内動向
 - ・ プロジェクト、民間の動向
- 土木分野における BIM 導入のねらい
 - ・ 少子高齢化社会への適応、建設事故抑制、生産性向上
- 土木分野における ICT 活用の海外動向
 - ・ 情報化施工、三次元設計情報
- 土木分野における ICT 活用の日本の現状
 - ・ 情報化施工、情報共有、IC タグ、センシング技術 等
- ‘CIM (Construction Information Modeling)’ の実現に向けて
 - ・ 諸問題に対する各要素技術、施策の統合・融合、計画・設計・施工・維持管理の一連の過程における関連情報の有効活用、全体の最適化、更なる質の向上